

タイ外食事業者の日本食研修・産地見学会 3月10日～3月15日 東京、石川、京都、大阪

JRO タイ支部長の浅井靖綏氏（モスフードタイランド会長）を団長に、タイで150店舗を展開するオイシイグループをはじめとする日本食レストランの経営者、シェフ、ディストリビューター、マスコミ関係者等15名が来日した。

タイは一昨年の洪水被害から回復し、バンコクを中心に日本からの投資も盛んで、日系外食チェーンの進出も相次いでいる。現在、タイの日本食レストランは約1,700店舗を上回るが、不採算店は撤退を余儀なくされるなど、競争は年々激しさを

増している。

研修団一行は石川県金沢市等の産地や食品メーカー等を訪問し、生産者との交流および商談会を行ったほか、食品メーカーの協力による工場見学、メニュー研修等を精力的に行った。



タイ外食事業者研修団一行



タイの外食事業者の関心を呼んだ甘エビ等の石川県の水産物



加賀野菜・加賀太キュウリの圃場見学



日本の惣菜メニュー研修（楳柿安本店の三尺三寸箸）

ハチバンフーズパークの
餃子製造ライン視察



金沢市の台所・近江市場

5日間の研修のまとめ（がんこ道頓堀店）



京都中央卸市場の京野菜

焼きおにぎり等の冷凍食品の試食
検討会（ニチレイ船橋工場）

